公益財団法人日本住宅・木材技術センター

理事長　古久保 英嗣　殿

誓約書

私は、「外構部の木質化対策支援事業（企画提案型実証事業）」の申請にあたり、

下記のとおり誓約します。

令和　　年　　月　　日

【応募者】

住　　所：

会 社 名：

代表者役職名･氏名：　　　　　　　　　　　　　　㊞

記

１．私（法人又は団体を含む。以下同じ。）は、令和３年度補正予算　外構部の木質化対策支援事業（企画提案型実証事業）公募及び実施要領（以下「公募及び実施要領」という。）に規定する要件を満たし、提案内容については、公募及び実施要領に規定する企画提案型実証事業の条件に適合しています。

２．私は、以下に示す者ではありません。

（１）公正取引委員会から、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和22年法律第54号）に基づく排除措置命令又は課徴金納付命令を受けた者

（２）自ら又は実質的に経営権を有する者が、暴力団、暴力団員、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋、社会運動等標榜ゴロ、特殊知能暴力集団、若しくはこれらに準ずる者又はその構成員、又は過去5年以内にこれらに該当したことがある者

３．私の提案が採択された場合には、現時点で予測不能な事情が発生し、かつ解決に向けて誠実に対応した結果、真にやむを得ない場合を除き、承認された事業の内容に沿って誠実に事業を実施します。

４．私が提案書に記載した内容及び上記の誓約内容については偽りありません。

公益財団法人日本住宅・木材技術センター

理事長　古久保 英嗣　殿

誓約書

「外構部の木質化対策支援事業（企画提案型実証事業）」の申請にあたり、（甲）から（乙）に対して説明を行い、（乙）はその内容について理解しました。

（１）実証対象施設に用いた木材の耐久性及び当該施設における実証の内容について、（甲）から（乙）に対して説明を行い、（乙）はその内容及び実施について理解しました。

（２）実証対象施設のメンテナンス計画案（維持管理のために必要な具体的な対策とその時期、コスト等）について、（甲）から（乙）に対して説明を行いました。

（３）今回申請する実証対象施設の整備には、国の他の補助金等を使用していません。

（４）今回申請する実証対象施設の整備には、財源に国庫からの助成金、交付金その他国の資金（地方交付税交付金を除く。）が含まれる地方公共団体及びその他の公的機関の補助金等を使用していません。

（５）（甲）は、企画提案型実証事業の終了後５年間は当事業で整備した外構施設の状況を把握することについて、（甲）から（乙）に対して説明を行い、（乙）はこれに協力します。

上記の内容について了解した上で、実証事業に申請します。

また、上記の内容に反することとなった場合には助成金を返還いたします。

令和　　年　　月　　日

（甲）応募者（会社名）

代表者（役職名）（氏名） ㊞

（乙）施　主（会社名）

代表者（役職名）（氏名） ㊞